

## 彙 報

### 第 54 回日本言語学会大会

青山学院大学において昭和 41 年 5 月 27 日研究発表, 5 月 28 日公開講演及び  
会員総会を開催。

#### 1. 研究発表

アイヌ語樺太ライチシカ方言シンタクス	古川 恭子
ヘブライ語不規則名詞の形態音素的な解釈	中野 暁雄
日本語否定の一考察	大木 二郎
日本語の名詞的表現——「の」を含む構文を中心として	牧内 勝
形態音素的入れ替え操作	小泉 保
京都アクセントの上昇性	川上 泰
2 拍名詞 5 つの類を 5 つに言い分けるアクセント	和田 実

#### 2. 公開講演

日本語の内部構造について	勇 康雄
Trends in Received Pronunciation	J. O. ガントレット

#### 3. 会員総会

昭和 40 年月会計報告(別記)を承認した。

### 第 20 回九学会連合大会

昭和 41 年 5 月 14 日・15 両日東京大学にて開催。

テーマは「階層」。本会からは渡辺友左氏が発表し, 奈良毅氏が討論に参加した。

### 昭和 41 年度第 1 回委員会

日 時: 昭和 41 年 4 月 5 日

場 所: 学士会館本郷分館

出席者: ( )内は委任状受託者

浅井恵倫, 亀井 孝, 北村 甫, 高津春繁(9), 小林智賀平, 小林英夫, 佐藤  
孝, 服部四郎(3), 三根谷徹。

白紙委任状 4, 委員総数 35。

#### 議決事項:

1. 幹事大江孝男氏の本務転勤に伴い, 新たに湯川恭敏氏に幹事を委嘱することになった。
2. 昭和 40 年度の会計報告を別記の通り承認。

3. 前会委員会にて審議した第 27 回国際東洋学者会議への代表者派遣について、日本学術学議へ問合わせた結果、誤報であって、同国際会議は昭和 41 年度には開催されないとの回答があった旨、委員長から報告があった。
4. 昭和 41 年度春季大会(第 54 回、於青山学院大学)に関する件
  - 1) 日程細目を決定した。
  - 2) 研究発表者、発表題目及び発表順を決定した。
5. 第 10 回国際言語学者会議(1967 年 8 月 28 日～9 月 2 日、於ブカレスト)に関する件。
 

第 10 回国際言語学者会議組織委員会より、本会に対して代表派遣の要請があり、同時に派遣代表者名を 5 月 1 日までに通知するよう求めてきた旨、委員長から報告があり、審議の結果次の通り決定した。

  - 1) 同国際会議組織委員会に対しては、同国際会議への参加を受諾する旨、とりあえず通知すると共に、本会からの派遣代表名は決定次第通知する旨回答する。
  - 2) 本会の派遣代表者の決定は、規約に基いて慎重に行なうこととし、手続きの実施日程に関する決定は委員長に一任する。
6. 昭和 41 年度秋季大会(第 55 回)に関して、泉井委員からの連絡について審議し、次の通り決定した。
  - 1) 開催地は京都とし、会場の選定等については泉井委員に一任する。
  - 2) 開催日は 10 月 15 日(土)、16 日(日)の両日を予定する。
7. 本年 5 月現在にて発行する会員名簿のためのアンケートの様式について審議した。

#### 昭和 41 年度第 2 回委員会

日 時： 昭和 41 年 5 月 28 日

場 所： 青山学院大学校友会館

出席者： ( ) 内は委任状受託数

泉井久之助(1)、金田一春彦、高津春繁(6)、河野六郎、小林智賀平、小林英夫、柴田 武、鈴木孝夫、関本 至、徳永康元(1)、西田龍雄、野上素一、服部四郎(2)、前田護郎、佐藤 孝。

白紙委任状 2、委員総数 35。

#### 議決事項：

1. 昭和 41 年度秋季大会(第 55 回)に関して、次のように決った。
  - 1) 秋季大会は 10 月 15 日、16 日に京都大学(予定)で開催する。
  - 2) 大会運営委員長は泉井久之助氏。
  - 3) 15 日は公開講演、16 日は研究発表を行なう。
2. 昭和 42 年度春季大会(第 56 回)に関する件。

来年度秋季大会は、5月下旬の予定で東京大学教養学部にて開催する。

3. 第10回国際言語学会議と第27回国際東洋学会議への代表の選考について

前者は前回委員会の決定どおり規約に基づき全会員から立候補をつのり、次回委員会で決定する。後者は東洋学者連絡会議と連絡を密にし、委員会として推薦する。

4. 今年度末に委員選挙が予定されている旨、委員長から報告があり、その日程について審議した。

5. 昭和41年度会員総会の議題を決定した。

6. 九学会連合に関して金田一委員より報告があった。

収入		昭和 40 年度決算		支出	
前年度繰越金	17,855	刊行費	502,960	送料	49,820
会費(現金)	179,206	大会講演会費	43,726	通信費	30,070
" (振替)	401,700	事務用品費	6,573	九学会連合費	5,000
雑誌売上金	50,680	文科系学会連合費	3,000	雑費	68,345
寄付金	5,000			計	709,494
補助金	60,000			差引残額	8,547
利息	3,600				
計	718,041				